

(奈良県)

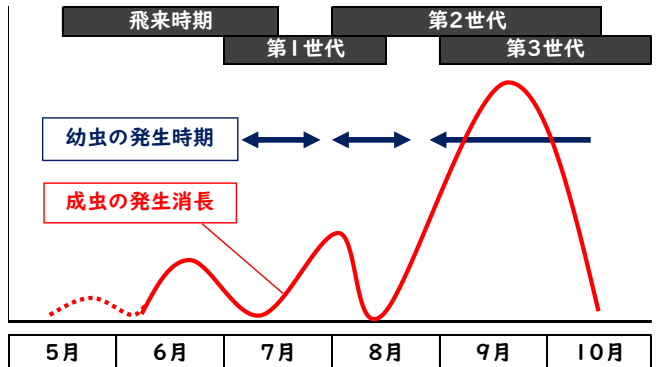
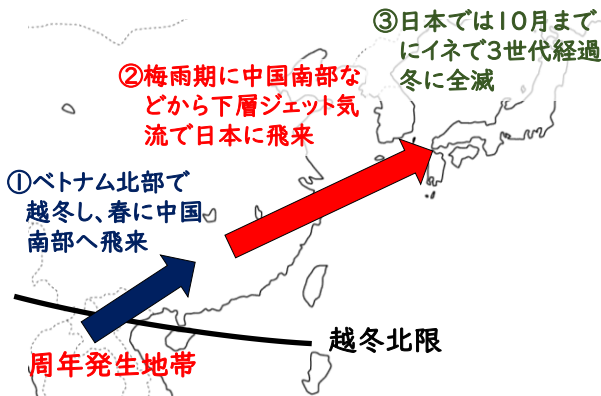
トビイロウンカの防除技術

1. トビイロウンカの発生生態

- 梅雨の時期に飛来し、3世代かけて増殖した後、主に秋に坪枯れが発生します。
- イネでしか増えません。
- 寒さに弱く、国内で越冬できません。



トビイロウンカによる坪枯れ→



トビイロウンカの海外飛来

トビイロウンカの発生パターン

- 近年、飛来量が急増しています。
- 8月が高温・乾燥になると急増します。

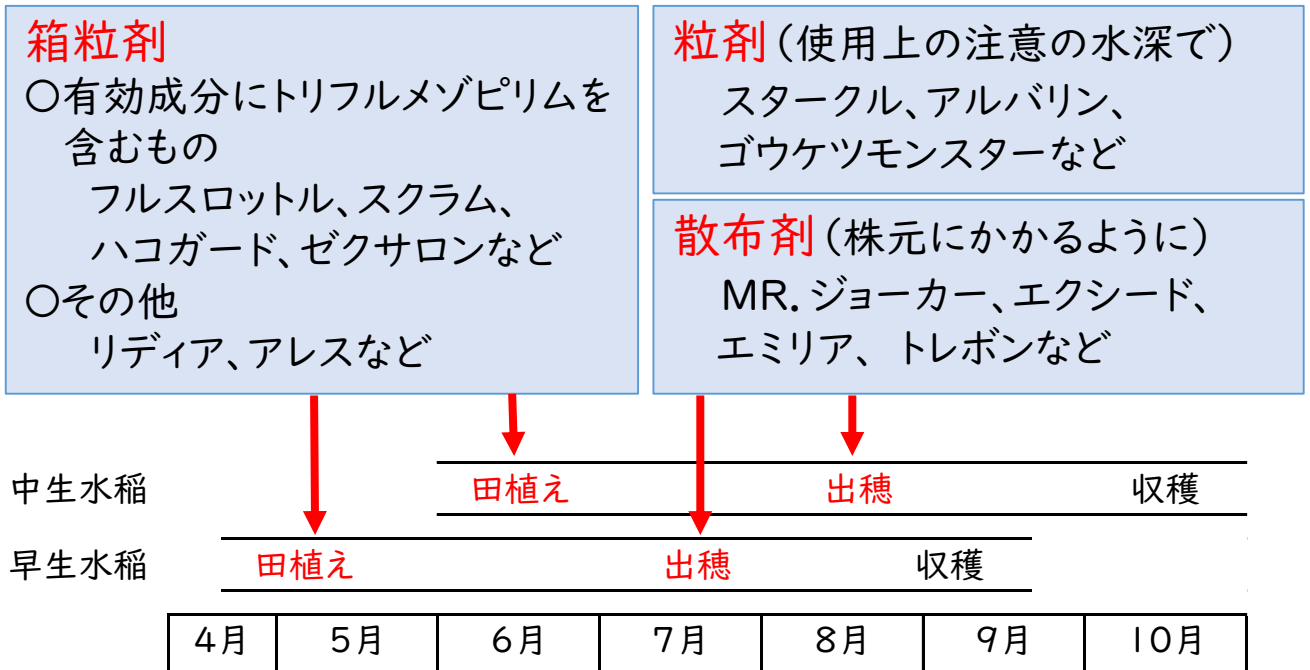


トビイロウンカ成虫の飛来量の年次推移

2. 防除のポイント

- 薬剤抵抗性が発達しており、効かない剤があります。
- 増えてからでは手遅れです。少ないうちから予防しましょう。
- 坪枯れを起こすのは主に第3世代です。第2世代幼虫期までに確実に防除しましょう。

田植え時 (飛来～第1世代)	出穂前 (第2世代の幼虫)
効果の高い箱粒剤で予防を <ul style="list-style-type: none">● 田植後の多飛来に備えます。● 効果の高い剤なら出穂前まで残効があります。	増加前に仕上げ防除を <ul style="list-style-type: none">● 多発生年は出穂前に確実に処理します。● 少発生年はカメムシ防除優先で。



※薬剤は、このほかにも同じ有効成分を含む様々な商品名のものがあります。
農薬販売店に相談して、他の病害虫との同時防除も考慮して選んでください。

3. 発生情報の入手先

- 奈良県病害虫防除所HP (病害虫発生予察情報の掲載)
<http://www.jppn.ne.jp/nara/>
- 奈良県LINE (注意報発表の案内)
<https://line.me/R/ti/p/%40688bjyqz>